

学術サミット

活動報告・活動目標

一般撮影班

2020 年度活動報告

- 一般撮影（胸部・腹部・乳腺・歯科・骨塩）および透視検査に関する調査・研究を主に行っています。
- JAPAN-DRLs2020 との比較を行い、歯科撮影や長尺撮影など特殊な検査に関する線量の調査を行い大学病院におけるローカル DRLs の検討を行い、放射線被ばくの最適化の検討を行っています。

2021 年度活動目標

- 一般撮影（胸部・腹部・骨関係・乳腺・歯科・骨密度）および透視検査に関する調査・研究を行う。引き続き撮影条件などの調査を行い、昨年発出された JAPAN-DRLs2020 との比較を行います。
- 特殊な検査に関する線量の調査を行い大学病院におけるローカル DRLs の検討も行います。

血管造影班

2020 年度活動報告

- 全国国立大学病院に装置線量データ「RocalDRLs」の測定を依頼しています。

2021 年度活動目標

- 国立大学病院の装置線量データ「RocalDRLs」を集計します。
- 「RocalDRLs」をホームページに掲載し、自施設と比較し装置の設定に役立てて欲しいと思います。

CT 班

2020 年度活動報告

- CT 検査の被ばく線量に関して、東日本大震災などの災害により非常に関心が高くなっています。
- 特に小児、乳幼児における CT 検査を行う場合、放射線感受性が高いことから画質を担保しつつ、最低限の X 線量での検査を実現しなければなりません。
- そのために、全国国立大学病院での現状を把握するとともに、小児 CT 検査の正当性を示すことを目的として活動しています。

2021 年度活動目標

- 全国国立大学病院にて臨床で行われている小児 CT 検査の実態調査を行います。
- 調査結果をデータベース化して情報共有することで、更なる被ばく線量低減と画質向上を目指します。

MRI 班

2020 年度活動報告

- 国立大学病院において安全で安心な MRI 検査を行うためのガイドライン策定を予定しています。
 - ガイドライン 1st edition に対するパブリックコメントの募集を行いました。
 - ガイドライン 2nd edition 作成に向けた活動を継続しています。

2021 年度活動目標

- MRI Safety Guideline 2nd edition の策定を行います。
- パブリックコメントに関する回答を検討し、ガイドライン 2nd edition の完成を目指します。

放射線治療班

2020 年度活動報告

- 学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行っています。
- 2020年9月 国立大学病院における研究と業務環境の標準化に向けた調査報告を行いました。(HPで公開)
- 2020年4月1日に施行された医療法への対応について、線量記録と管理の均てん化に向けた現状調査を行いました。(2020年12月;一部施設で実施)
 - 情報共有による被ばく線量の比較や被ばく管理に対する意識改革を目指しています

2021 年度活動目標

- 治療班では学術活動や業務内容の情報共有を行い、個々の技師の技術向上と治療部門全体のベースアップを目標に活動を行っています。
- 放射線治療における被ばく管理と線量評価の標準化に向けた活動を予定しています。

核医学班

2020 年度活動報告

- 核医学検査における被ばく線量把握とその低減のため、「SPECT-CT 検査および PET-CT 検査における CT 線量調査」を課題として活動しています。
- 核医学検査における医療事故防止の観点から、「核医学検査におけるインシデントの調査と解析」も二つ目の課題としてしています。
- 国立大学病院におけるネットワークを通じて、核医学検査に関する様々な問題についての調査や解決をすることで我が国の医療の質の向上に貢献します。

2021 年度活動目標

- 核医学検査における被ばく線量把握とその低減のため、「SPECT-CT 検査および PET-CT 検査における CT 線量」の最適化を目指して活動します。
- 核医学検査における医療事故防止の観点から、「核医学検査におけるインシデントの調査と解析」を行い核医学検査における医療事故の低減について考察します。
- 国立大学病院におけるネットワークを通じて、核医学検査に関する様々な問題についての調査や解決をすることで我が国の医療の質の向上に貢献します。